

### 面会制限を緩和します

美山特養ホーム・美山ホーム  
施設長 濱岡 武

新型コロナウイルス感染症の世界的流行が始まり2年が経ちました。その間、当施設においても入居者様の外出や面会の制限、ワクチン接種、職員の定期的なPCR検査の実施等、可能な限りの感染予防に取り組んでまいりました。

ご家族様等のご協力のおかげにより、一人の陽性者も出さずにごままで来られましたことに感謝申し上げます。

9月末に緊急事態宣言が解除された後、10月の地域感染状況を注視して参りましたが、コロナ感染第6波の兆しがないことから、11月1日より面会方法を一部緩和し、アクリル板越しではあります、当施設のロビー内で直接お会いいただけるようにいたしました。

今後の新型コロナウイルスやインフルエンザの流行状況によっては再度感染対策を徹底する可能性があり、面会についても制限を強化することが考えられますので、この機会にぜひご面会においていただき言葉を交わしていただければと思います。

#### 面会ルールについて

☆面会の際は事前に電話で予約して下さい  
☆面会時間は15時から16時の間で1組20分間までとなります

☆1家族様3名以内、週1回までとします  
☆面会時は問診票の記載、マスクの着用など職員の指示に従って下さい

### ユニット特養近況報告

美山ユニット特養においては、ご入居者お一人お一人の生活における「暮らしやすさ」への支援を大切に考えています。

暮らしやすさとは、何気ない習慣、こだわりの積み重ねともいえます。生活習慣でいえば、朝起きたらすぐに着替える方、朝食のあとにゆつくりと着替える方もいます。お食事にも、自分の食卓というものがあり、例えば卵焼き一つでも醤油をかけた時、ソースをかけた時、何もつけずに召し上がったりします。自宅にいるように特別養護老人ホームでも、自分のことを分かってくれる人がいて、何気ないこだわりが持ち続けられる環境がある、私たちはそのように考えながら日々の支援に努めています。

私たちの支援方針に、はじめは遠慮されていたご入居者やご家族も徐々にご理解を頂けるようになり、今では生活習慣へのご要望やお好きな調味料や漬物、おやつなどの持参の希望が増えてきています。もちろん健康面も考え、医師や看護師、管理栄養士がともに連携し、相談をしてご本人の暮らし(やすさ)に近づけるよう知恵を出し合っています。



握った塩で握ったおにぎりを喜ばれるM・W様

「今日もいつもの(自分の)1日だった」と笑顔で安心してふりかえることができる毎日をお過ごしただけでしょう、スタッフ一同頑張つて参ります。(ユニット特養主任・井上)

### シヨートステイ近況報告



コロナ禍も一服し、緊急事態宣言も解除、日常が戻りつつある印象の今日この頃、利用者様も増えていきます。また、夏から秋にかけての日々の温度差が激しい中、体調を崩される方もなく変わらぬご利用いただいていることに、職員一同、嬉しく思います。

シヨートステイのご利用は短いお客様で一泊二日、長いお客様で数か月。定期的に來るお客様もいれば、半年に一回の方もいます。ご利用のタイミングが常に同じではないことで、それが一期一会の出会いであったり、また、新しい出会いの場であったりします。ときには、年齢を重ねて外に出なくなつたことで会えなくなつた地元のお友達と久々に再会を果たす、そんな場所にもなつていきます。いらつしやることになつた理由も人それぞれではありますが、皆さま、お年が近いこともあり、共感できることも多い様子。リビングスペースで

家族のこと、担当のケアマネジャーさんのこと、ご自身の体調のことなどでおしゃべりをしながら、『ああ、みんなそうなんだ...同じなんだあ...』といった具合に自分一人の悩みではないことを確認して安堵されたり、勇気づけられたり...。たまには家と違ふところへ旅行気分であっていただける、そんな空間でありたいと願っています。(相談員・藤本)

### 防災訓練を実施しました



9月29日(水)美山ホーム総合防災訓練を実施しました。初期消火と平行して利用者様を安全な場所に誘導する避難訓練も行いました。定期的な訓練を通じ防災に対する一人ひとりの意識向上を図つて参ります。(内務員・芹澤)